

市議会 だより



■発行/鈴鹿市議会 ■編集/鈴鹿市議会広報広聴委員会

三重県鈴鹿市神戸一丁目18番18号 TEL.059-382-7600 <http://www.city.suzuka.lg.jp/gikai>



市長に提言書を手渡す正副議長と各常任委員長

12月定例会のあらまし

12月定例会は、11月25日から12月20日までの26日間の日程で開催されました。本定例会では、開会初日には、先の9月定例会で継続審査とされていた請願第5号「保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める請願書」について審議され、賛成多数で採択されました。これを受けて同趣旨の意見書を関係機関に送付し、その実現について要望しました。また、平成23年度鈴鹿市一般会計補正予算(第3号)など議案10件が市長から提出されました。議案質疑、各委員会での審査の後、閉会日には鈴鹿市副市長の選任同意について等の人事案件4件の追加議案が提出され、討論及び採決が行われました。一方、「国民生活の安心と向上を図る各種基金事業の継続を求める意見書」等2件の意見書案が各派代表者等から提出され、それぞれ原案のとおり可決され、この意見書についても関係機関へ送付し、その実現について要望しました。(議決一覧については3ページに記載)

主な内容

委員会審査状況	2～3P
12月定例会議決一覧	3P
議会の動き	3P
一般質問	4～11P
議会からの提言	11～12P
2・3月の会議日程	12P

議員からの寄付は禁止されています

議員(候補者を含む)が、親睦旅行会・会合・お祭り・運動会等の行事に、寄付や差し入れなどをしたり、祝い金(出産・新築等)や贈り物をすることは、公職選挙法等により罰則をもって禁止されています。また、要求した人や受け取った人も同様に罰せられます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

常任委員会審査状況

12月定例会に上程された議案を各委員会に付託して審査を行いました。11月25日に総務委員会、12月9日と15日には予算決算委員会、12日には文教福祉・建設水道委員会と各分科会、13日には総務・生活産業委員会と各分科会をそれぞれ開催しました。各委員会の審査状況は以下のとおりです。

総務委員会 (総務分科会)

議案第69号ほか3件の議案を審査した。議案第69号の補正予算については、歳出で、東日本大震災に関する消防団員等の公務災害補償費及び共済基金負担金の補正についての内容を尋ねる質疑、歳入で地方交付税の普通交付税が大きく増額になった要因についての詳細を尋ねる質疑、があり全会一致で原案可決すべきものと決定した。議案第73号の行政組織条例の一部改正については、新たに防災危機管理課を設置するものであり、危機管理における市長、副市長、防災危機管理監の役割責務、指揮系統をどのように考えているのかについて等の質疑があり、討論では、防災危機管理課という組織ができることで市民の期待も高く、スピーディな鈴鹿市の安全安心を守る重要な組織として機能を果たすことを期待するとの意見があり、全会一致で原案可決すべきものと決定した。議案第74号の市税条例等の一部改正については、東日本大震災に係る住宅借入金等特別税額控除の適用期限の特例に関して、鈴鹿市に住民票を移している人は何人ほどいるのかについて等を尋ねる質疑があり、全会一致で原案可決すべきものと決定した。議案第78号の鈴鹿市職員給与条例等の一部改正については、今回の減額は人事院勧告に基づいてのものか等を尋ねる質疑があり、全会一致で原案可決すべきものと決定した。

文教福祉委員会 (文教福祉分科会)

議案第69号ほか3件の議案を審査した。議案第69号の補正予算については、歳出で、放課後児童クラブへのAED設置に関する質疑、障害福祉サービス事業費に関する質疑、障害者自立支援法の施行に伴うシステム改修費や障害者福祉サービス費に関する質疑、児童虐待・DV対策等総合支援事業費について、相談情報を一元化するためのシステム改修費に関する質疑、鼓ヶ浦サン・スポーツランドの維持修繕費に関する質疑、就学援助費や特別支援教育就学奨励費に関する質疑、日本スポーツ振興センター共済給付金に関する質疑等があり、討論では、障害福祉サービス事業費について、当初予算時にしっかり展望を持った予算立てが必要であり、またタクシー費に関しては一度事件が起こっているの、チェックをしっかり行うべきとの意見等があり、全会一致で原案可決すべきものと決定した。議案第72号については、「けやきホーム」と「さつきホーム」が新たに統合され「ベルホーム」となる関係で、施設の職員に関する質疑や支援事業に関する質疑、療育センターとの住み分けに関する質疑等があり、討論では、利用者負担が増えないようにとの意見や市民が利用しやすいように改善を求める意見等があり、全会一致で原案可決すべきものと決定した。議案第75号については、療育センターの児童デイサービス事業についての質疑があり、討論では、理学療法士や心理士などの専門職を正規職員として雇用することを評価し、お子さんが少しでも、社会的な生活ができるようになる環境づくりに取り組んでほしいとの意見があり、全会一致で原案可決すべきものと決定した。議案第76号については、指定管理者の指定となる対象施設の状況についての質疑、また指定管理者の選定に関して、選定基準の考え方等を尋ねる質疑があり、討論では、根本的な指定管理のあり方や施設管理のあり方について、方向性を示すべきである。また、実績報告や市民アンケートの結果などがわかる資料を用意してほしいとの意見があったが、全会一致で原案可決すべきものと決定した。

生活産業委員会 (生活産業分科会)

議案第69号の1件を審査した。議案第69号の補正予算については、歳出で、斎苑の燃料費の増額に関する質疑、大規模地震対策事業費で全戸配布する津波ハザードマップの配布方法等を尋ねる質疑。また、ハザードマップの形状、発行部数、大きさや紙質、利用のしやすさ等を具体的に尋ねる質疑、災害時情報配信システム費で、メルモニのシステムの改修するポイントを尋ねる質疑。緊急避難場所整備事業費について、鼓ヶ浦小学校の屋上へのフェンス設置にかかる調査費の内容に関する質疑や大型商業施設の立体駐車場の津波時利用についての詳細を尋ねる質疑等があり、全会一致で原案可決すべきものと決定した。

建設水道委員会 (建設水道分科会)

議案第69号ほか3件の議案を審査した。議案第69号の補正予算については、今回の補正内容については別段異議なく、全会一致で原案可決すべきものと決定した。議案第70号の下水道事業特別会計の補正予算については、工事に伴うNTT光ファイバーケーブルの移設と金額について、通行止め等、地元との交渉で、工事が遅れることがあるのか等の質疑があったが、全会一致で原案可決すべきものと決定した。議案第71号について、下水事業の企業会計化によって具体的な変更点や生じるデメリットに関する質疑、また一般会計からの繰入金決算額の今後についてや他市の企業会計化の状況についての質疑、職員の事務量は増加するのか等の質疑があったが、全会一致で原案可決すべきものと決定した。議案第77号については、今回の市道の認定については、汲川原橋徳田線道路改良工事の状況や、駐車状況、交通量等を尋ねる質疑があり、全会一致で原案可決すべきものと決定した。

予算決算委員会

12月9日の本会議にて議案第69号の平成23年度鈴鹿市一般会計補正予算(第3号)と議案第70号の平成23年度鈴鹿市下水道事業特別会計補正予算(第1号)の2件が付託され、付託同日、当委員会を開き、分科会(総務・文教福祉・生活産業・建設水道)を設置し、付託議案を分担送付して審査することと決定した。12月15日に再び当委員会を開き、各分科会委員長から詳しい審査報告を受けた。審査報告に対する質疑は別段なく全会一致で2議案が原案のとおり可決すべきものと決定した。

議決一覧表(12月定例会)

議案番号	件名	議決内容	
議案第69号	平成23年度鈴鹿市一般会計補正予算(第3号)	原案可決	全会一致
議案第70号	平成23年度鈴鹿市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全会一致
議案第71号	鈴鹿市下水道事業の設置等に関する条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第72号	鈴鹿市心身障害者小規模作業所条例の全部改正について	原案可決	全会一致
議案第73号	鈴鹿市行政組織条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第74号	鈴鹿市税条例等の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第75号	鈴鹿市療育センター条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第76号	指定管理者の指定について	原案可決	全会一致
議案第77号	市道の認定について	原案可決	全会一致
議案第78号	鈴鹿市職員給与条例等の一部改正について	原案可決	賛成多数
議案第79号	鈴鹿市副市長の選任同意について	原案可決	賛成多数
議案第80号	鈴鹿市公平委員会委員の選任同意について	原案可決	全会一致
議案第81号	鈴鹿市教育委員会委員の任命同意について	原案可決	全会一致
議案第82号	鈴鹿市教育委員会委員の任命同意について	原案可決	全会一致
委員会発議案第6号	就学・修学支援に関わる制度の拡充による保護者負担の軽減を求める意見書	原案可決	賛成多数
議員発議案第5号	国民生活の安心と向上を図る各種基金事業の継続を求める意見書	原案可決	賛成多数
議員発議案第6号	防災会議に女性の視点を取り入れることを求める意見書	原案可決	賛成多数
請願番号	件名	議決内容	
請願第5号	保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める請願書	採択	賛成多数

議会の動き(議長・副議長の公務等)

略称/各種会議名	各派/各派代表者会議	政調/政務調査費経理責任者会議
議運/議会運営委員会	全協/全員協議会	広報/議会広報広聴委員会

10月

- 4日 鈴鹿亀山地区広域連合議会定例会(関係議員)
- 5日 各派
- 14日 防災安全特別委員会
- 17日 文教福祉委員会行政視察(滋賀県湖南市)
- 20日 東海市議会議長会支部長会議及び第253回東海市議会議長会理事会(議長) 広報
- 24~25日 全国市議会議長会第189回部会長会議及び第2回財政基盤検討委員会(議長)
- 25日 三河鈴鹿農業共済事務組合議会定例会(関係議員)
- 27日 議会改革特別委員会
- 31~1日 議会運営委員会行政視察(東京都府中市,埼玉県戸田市) 文教福祉委員会行政視察(長野県茅野市,上田市)

11月

- 8日 各派
- 10日 生活産業委員会
- 11日 全国市議会議長会第185回理事会及び第91回評議員会(議長)
- 14日 議会改革特別委員会
- 15日 全協・政調・総務委員会・文教福祉委員会・建設水道委員会
- 16日 三重県後期高齢者医療広域連合議会定例会(議長)

- 16~17日 防災安全特別委員会行政視察(茨城県ひたちなか市,千葉県香取市)
- 18日 議運
- 21日 議会改革特別委員会
- 22日 第2回国と地方の協議の場等に関する特別委員会(議長) 総務委員会
- 25日 本会議・総務委員会・議運
- 29日 議会改革特別委員会

12月

- 2~7日 本会議(3・4日休会)
- 8日 議運・各派
- 9日 本会議・予算決算委員会
- 12日 文教福祉委員会・予算決算委員会分科会 建設水道委員会・予算決算委員会分科会
- 13日 総務委員会・予算決算委員会分科会 生活産業委員会・予算決算委員会分科会
- 15日 予算決算委員会・各派・防災安全特別委員会
- 16日 議会改革特別委員会
- 19日 議運・各派
- 20日 本会議・政調・全協・広報



リベラル鈴鹿 水谷 進 議員

- 1 職員の問題のある行動について
 - (1) 懲戒処分の件数について
 - (2) 交通安全意識について
- 2 税金未納対策について
 - (1) 取り組みについて
 - (2) インターネット公売について
- 3 神戸公園について
 - (1)・(2) 神戸城跡の整備・活用について

質問1(1) 22、23年度の懲戒処分件数はどうか。

答弁1(1) 22年度は市費職員が2件、県費職員は1件、23年度は現在まで県費職員の2件である。

質問1(2) 何度も繰り返し事故をする職員へ対応は。

答弁1(2) 再度自身の運転について反省をする機会

を設ける為の事故惹起者研修を実施している。

質問2(1) 電子決済サービス(ペイジー)の導入は、また滞納整理を臨時職員が行う事は不適切では。

答弁2(1) 費用対効果を総合的に考慮し研究したい。緊急雇用の臨時職員も守秘義務があり問題ない。

質問2(2) 滞納者に対しなれ合い捜査をしていないか、また差し押さえ物件は鑑定しているのか。

答弁2(2) 滞納者等への心理的影響を考え協議している。差し押さえ物件については、市で調査をし、滞納者と相談等をしながら価格を決定している。

質問3(1) 文化財の管理を文化課はしているのか。

答弁3(1) 市街地整備課と連携し管理をしていく。

質問3(2) 神戸城跡の観光資源にできないのか。

答弁3(2) 観光施設としてPR・商品化に努めたい。



あくていぶ21 森 喜代造 議員

- 1 福祉避難所について
 - (1) 現状について
 - (2) 今後について
- 2 不審者について
 - (1) 本市の現状について
- 3 防犯対策について
 - (1) 安全パトロール隊について

質問1(1) 福祉避難所の受入れ施設と体制について。

答弁1(1) 一次避難所での生活が困難な高齢者や障がいの方が避難する施設として、老人福祉施設や障害施設等の短期入所定員枠の範囲内において避難者の受入れをしていただく協定を締結している。

質問1(2) どんな形で福祉避難所の充実を図るのか。

答弁1(2) 支援活動の経験で検討会を開き、各団体にフィードバックしていただくことで連携を図りたい。

質問2(1) 発生件数と時間場所、不審者の特徴及び連絡システムの体制と再発防止について。

答弁2(1) 146件で昨年度より46件増加し、下校時間帯は80件で全体の54.8%を占めている。また、不審者発生場所を地図で示し関係機関に配布した。不審者情報は各学校から教育委員会事務局に報告され、近隣校に注意喚起を指示し、青ノボで巡回を行う。また、防犯教室も実施して学校や地域の実態に応じた安全安心対策の改善に努めていく。

質問3(1) ボランティアの活動状況と今後について。

答弁3(1) 約4200名が地域の防犯活動に尽力し、安全安心で元気なまちづくりを推進していきたい。



あくていぶ21 宮木 健 議員

- 1 スマートインターについて
- 2 減災と防災について

質問1 平成30年度に開通が予定されている新名神高速道路に付随した(仮称)鈴鹿パーキングエリアに設置される、スマートインターの活用をどのように考えているのか。積極的に地域の意見を取り込んでほしい。



新名神スマートインター予定地

答弁1 重要な事業として認識している。地域の活性

化はもとより、災害時の緊急輸送路の確保としても重要な施設である。連結許可申請がおりれば、地域の皆さんや関係機関と協議、調整しながら取り組んでいく。

質問2 教育施設、保育施設等子どもたちの登下校時の災害対策について、特に地域との連携についてを問う。地域との連携、特に小学校は避難所となっているので、地元の方々とよく相談し、早急に役割など詳細を詰め、他地域の子どもは地域で守るよう日頃から訓練等しっかり連携してはどうか。

答弁2 各施設ごとにマニュアルはあるが、地域については明確になっていない。また市全体としてもまだまだ把握していない。



緑風会 宮本 正一 議員

- 1 次期行財政経営計画策定にあたって
- 2 消防体制の充実・強化について

質問1(1) 市民からの意見受付数と回答状況は。

答弁1(1) 合計237件のご意見をいただき、回答は市のホームページに掲載している。

質問1(2) 現状認識と取り組むべき重要課題は。

答弁1(2) 防災施策の充実を図る必要性があり、産業空洞化、社会保障費の増加等も懸念している。財政状況が厳しい中であるが、将来の目標を設定し第3期行財政経営計画の中で方向性を示していく。

質問1(3) 財政健全化の取り組みについて。

答弁1(3) 今年度中に「行財政改革大綱」を策定し、

行財政改革の取り組みを更に強化する。

質問2(1) 消防車の平均到着時間と実績は。

答弁2(1) 平成20年度が73件で10分、平成21年度が73件で10.3分、平成22年度が72件で10.5分。

質問2(2) 消防力の課題と効率配置について。

答弁2(2) 人員、施設、推理が課題。国の消防力指針に基づき人員体制を確保していきたい。出勤区域、管轄エリアに変更の必要性が生じた場合は、柔軟かつ迅速に対応する。

質問2(3) 消防団活動の現状課題と市の対応は。

答弁2(3) 条例定数455名に対し9名欠員している。年間行事の見直しや処遇改善を行うとともに、避難誘導時の安全確保のため、ライフジャケット等、安全装備の増強を図る計画である。



公明党 藤浪 清司 議員

- 1 予防接種の取り組みについて
- 2 適正な資産管理について
- 3 市職員の勤務時間管理について

質問1(1) 現在、公費助成により予防接種が行なわれている「子宮頸がん」・「ヒブ」・「小児用肺炎球菌」の3ワクチンについて、来年度以降もこの事業を継続すべきである。今後の方針について尋ねる。

答弁1(1) 接種率も高く、市民の関心を集めている重要な事業であり、本年度の対象者との格差が生じることから平成24年度以降についても事業継続に向けて検討している。

質問1(2) 肺炎球菌ワクチンは一回の接種で5年以上有効とされ、安全性も高い。高齢者の肺炎球菌ワク

チン接種の公費助成と啓発を行なうべきである。

答弁1(2) 平成24年度からの開始について、公費負担額や対象年齢も考慮しながら検討したい。

質問2 公用車は、集中管理台数を増やし稼働率を上げることで、更に削減すべきである。それによる駐車場の適正管理についても尋ねる。

答弁2 公用車の削減を進めていく中で、駐車場についても見直しを図り、適正管理に努めていきたい。

質問3 厳しい経済状況にあり、職員の健康管理上も時間外勤務を抑えるべきであるが、対応を尋ねる。

答弁3 時間外勤務を削減するという目標を全庁的に共有し、全庁で取り組むことが重要である。事務の効率化を図り行政コストを削減するという側面からも取り組みたい。



すずか倶楽部 鈴木 純 議員

- 1 津波防災体制について
 - (1) 一時避難施設の普及推進について
 - (2) 消防力の強化について
- 2 観光振興について
 - (1) 観光振興による地域活性化
 - (2) 観光振興基本計画の進捗状況と今後の取組みについて

質問1(1) 津波避難ビルの推進で明らかに近隣の市に遅れをとっているが、どのように増やしていくか。

答弁1(1) 年内に「白子サンズ」、「ロワレ21」様などと協定締結を予定しており、あらたな民間5施設と学校など公共11施設を含め概ね20,000人の避難を可能とする。今後も避難所の確保に努めていく。

質問1(2) 3連動地震で南消防署(白子)、東分署(中

箕田)が浸水域に入るとの想定のもとで、郡山分署新設を急ぐ必要があると思うが計画はどうか。

答弁1(2) 厳しい財政事情の中で、計画の具現化に向けて協議と調整に努めている。

質問2(1) 鈴鹿市の活力ある街づくりや経済効果をねらって観光産業の発展に努力すべきではないか。

答弁2(1) 経済、雇用、まちづくり等地域の活性化を進める上で重要であり観光協会、商議所と連携して官民一体で観光振興を推進していきたい。

質問2(2) 「観光振興基本計画」の実現を期待するが観光まちづくり委員会の役割は。観光集客施設に頼るばかりでなく、市独自の施策も必要ではないか。

答弁2(2) 委員会は関係機関・団体と連携を図り基本計画実現に向け、具体的な事業に取り組んでいきたい。

公明党 池上 茂樹 議員



- 1 危機管理体制について
- 2 期日前投票及び不在者投票について
- 3 通学路の危険箇所について

質問1 自助意識の向上のため、本人の医療情報や緊急時の連絡先等を記入携帯でき、事故や病気時でも役立つ「命のパスポート」を市民に配布しては。

答弁1 広報すずかの防災特集の掲載時に「命のパスポート」を載せるスペースを検討する。

質問2(1) 期日前投票の簡素化のため、入場整理券裏面に宣誓書を印刷し、自宅記入を可能としては。

答弁2(1) 次回選挙を視野に入れ、入場整理券の裏面に宣誓書様式を印刷し送付することを検討する。

質問2(2) 現在の期日前投票所は市役所の12階で、

高齢者や障がいを持たれた方に対し配慮に欠けている。市役所1階等に移動できないか。

答弁2(2) 1階への変更を関係各課と検討していく。

質問2(3) 期日前投票所をイオンモール鈴鹿や白子地区市民センター等、複数箇所を考えられないか。

答弁2(3) 複数箇所での投票について、管理運営にかかる課題、地域との協議など慎重に検討していく。

質問3 コミュニティ・スクールの取り組みの中で、通学路の危険箇所について把握し、改善改修することができないか。

答弁3 通学路の安全対策についてもコミュニティ・スクールのテーマに掲げ学校と地域がより連携した形で安全対策に努める。

あくていぶ21 伊藤 健司 議員



- 1 市民参加・広聴活動について
- 2 モータースポーツ都市宣言について

質問1 市長は市民との対話をどのように考えているのか。また広聴の一環としての「意見箱」をどう整備・改良し、活用していくのか。

答弁1 市民との対話から生まれる理解と信頼は行政の要であり、これから10年20年と鈴鹿市を担っていくことになる世代の方々との直接対話や意見交換をする。本年度は各地区でまちづくり等を考えているグループと各分野でまちの活力づくりを推進しているグループを対象にまちづくりミーティングを開催していく。意見箱についてはホームページを見直し、全ての手法をわかり

やすく明記し多様な手法があることを掲載するように改良を検討。市民からの意見と回答については、掲載内容を見直し、より詳しく公表するように検討し改善していく。

質問2 モータースポーツ活動にモトクロスという新たな風を活用できないものか。本市出身の小島庸平プロライダーを本市のシティセールスと連携・協働して本市に貢献していただけないか。

答弁2 モトクロスの活用については、今後、鈴鹿モータースポーツ友の会や鈴鹿商工会議所等の関係団体と協議し理解促進に努めていきたいと考えている。シティセールス特命大使の拡充については、モータースポーツ分野の新たな大使の委嘱についても、今後考えていく。

すずか倶楽部 中西 大輔 議員



- 1 公共交通について
- 2 災害への基金積み立てについて
- 3 まちづくり基本条例について

質問1(1) モビリティマネジメントについて、効率的都市の形成とのつながりは。高齢者や障がい者を、対象として改めて取り入れるのか。

答弁1(1) つながりはあると考えている。都市計画にも及ぶ全市的な課題と認識、関係部局と連携をとりながら公共交通政策に取り組む。12月の公共交通会議で、高齢者と障がい者の件について検討したい。

質問1(2) EVタクシーを導入支援してはどうか。

答弁1(2) 課題があるため、十分に検討する必要がある

あると考えている。

質問2 大規模災害に備え、特定目的基金の設置を検討してはどうか。

答弁2 財政調整基金で対応することを考えている。

質問3 鈴鹿市まちづくり条例について、進捗状況と今後の予定はどうなっているか？

答弁3 「みんなでつくる鈴鹿まちづくり条例を考える会」からの提言書を基に作成した素案について、庁内で検討を加えた骨格案を平成23年3月の全員協議会で報告した。5月以降は、末松市長のもと新たな検討を加えながら庁内策定委員会で策定作業に取り組んでいる。今後、早期に修正を加えた条例原案を確定するよう努め、確定後には速やかに市議会へ協議させていただきたい。



リベラル鈴鹿 大窪 博 議員

- 学校教育環境の向上について
 - 夏期時、授業の暑さ対策について
 - 扇風機の導入についての考えは
- 住宅リフォーム助成制度について
 - 本市の調査研究の状況について
 - 制度導入についての考えは

質問1(1) 昨今の猛暑、酷暑の夏期における子どもたちの室内授業環境について対策はされているのか。

答弁1(1) カーテンで遮光し、通気、換気を行い、湿らせた布を首に巻くアイススクール、水筒により、水分補給を行い熱中症の未然防止に努めている。

質問1(2) 授業環境改善の1つとして、扇風機の導入を思うが、考えはあるのか。

答弁1(2) 普通教室における扇風機の導入は、今後校舎の改築や改修の機会に整備したいと考えている。

質問2(1) リフォーム助成制度の調査研究状況は。

答弁2(1) 住宅リフォーム助成制度は、他市の状況によると、地域経済の活性化と雇用の安定の確保により、苦境にある建設業界の支援に繋がると考える。

質問2(2) 本市において、地域活性化推進を図るためにも、リフォーム助成制度の早期導入を思うが、考えはあるのか。

答弁2(2) 一定の経済効果は見られるリフォーム助成制度ではあるが、本市においては公益性の確認の視点とか、財源の確保、予算額と申請件数の整合を図るためにも、もう少し検討をしたい。



緑風会 山口 善之 議員

- 地域のまちづくりについて
- スポーツ振興について

質問1 地域主権の流れが今後進んでいく中で、地域分権型社会の実現に向けて本市においても少子・高齢化、国際化の進展などの市民ニーズの多様化、複雑化に対応していく為には、行政だけでなく地域住民が主体的に取組む体制づくりが必要不可欠と思うが、どの様に考えているのか。

答弁1 市では、住民相互の協力により、自己決定及び自己責任による地域におけるまちづくりを推進するための「地域づくり協議会」の設置を支援している。現在8つの地区で協議会又は準備委員会が設けられ各

種事業が行なわれている。将来的には市内全域での設立を目指し、努力していく。

質問2(1) 石垣池公園陸上競技場においては大会が開催される場合、市内外から数千人の来場があり、駐車場、トイレ等の環境面の整備が必要と考える。又第三種公認の更新がせまっております施設整備が必要。

答弁2(1) 環境面での整備は財政面において難しい第三種公認の更新取得に向け施設整備に努力する。

質問2(2) 平成33年の国体開催に向け、県内において主要都市で唯一硬式野球場がなくプロ野球はもちろん、県大会も開催できない現状であり、スポーツ宣言都市として建設できないか。

答弁2(2) 財政面で厳しいが、スポーツガーデンに隣接する市未利用地の活用を県に要望していく。



政友会 泊り 育美 議員

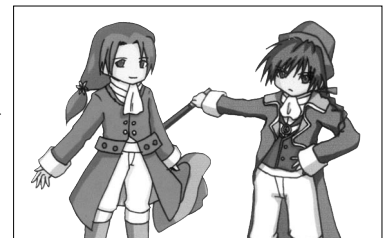
- 観光振興について
 - ご当地アプリの導入について
 - 大黒屋光太夫について

質問1(1) スマートフォンが普及し、アプリと呼ばれるプログラムが今後は一つの情報共有手段になり、すでに観光地や名所、ご当地グルメなどを紹介するその土地ならではのアプリを導入している自治体もある。ご当地アプリの導入は鈴鹿市の観光振興にも繋がると思うがその考えはどうか。

答弁1(1) 既存の観光パンフレットやホームページに代わり、新しいスタイルの観光案内ツールとしてご当地アプリは近い将来必須の観光アイテムになると考えている。導入は関係団体と連携し、調査・研究を進めていく。

質問1(2) 戦国武将をキャラクター化したゲームやアニメから人気に火が付き、その武将ゆかりの地を旅して回る女性が増えている。真田家ゆかりの上田城跡は観光客が約80万人増えるなど効果が出ているが、鈴鹿市の偉人である大黒屋光太夫をキャラクター化してPRしてはどうか。

答弁1(2) 光太夫を現代風のキャラクターにデザインしたイラストをお菓子の包み紙等に活用して商品販売しているところもある。キャラクター化については、市民一人一人がPRやシティセールスに努めてもらえればありがたい。





無所属 森 雅之 議員

1 学校給食について

- (1) 中学校給食について
- (2) 地産・地消・献立について
- (3) 食育・栄養士さんについて

質問1(1) 新給食センター建設の進捗状況について。

答弁1(1) 遅くとも平成27年4月実施を目的に、新給食センターの建設に向け取り組んでいる。規模は中学校約6,400食に一部老朽化した小学校調理場の食数を加えることも含めて検討し、今後、用地購入を行い、平成24年度中に各種業務設計、平成25年度中に造成工事、本体工事に取り掛かっていく予定。

質問1(2) 地産地消・献立についてはどのような取り組みをしているのか。

答弁1(2) 学校給食における地産地消の推進のために、生産者、流通業者、学校、行政がより一層、緊密な連携をはかり、年間を通じて、安定的に鈴鹿市産の食材が供給できるようなシステムの構築を研究し、また献立についても、統一献立としながらも学校間で実施時期をずらすことなどの検討が必要であり、今後の研究課題として捉えている。

質問1(3) 食育・栄養士さんについては。

答弁1(3) 現在11名の栄養教師、学校栄養職員が小学校に配置されている。1人が3～5校を担当し、計画的かつ継続的に食に関する指導を行う体制をとり、各学校の食育推進担当者と共に児童生徒が食に関する知識や能力等を発達段階に応じて総合的に身につけることができるよう、さまざまな教科等を関連させつつ、学校の教育活動全体で推進している。



無所属 森田 英治 議員

1 第3期行財政経営計画について

- (1) 環境変化に対応した計画の見直し
- (2) 審議会等、意見の対応について

2 地産地消の推進について

質問1(1) 24年度からの第3期経営計画に災害に対する施策の変化が見られず、多額の費用が発生する重要案件が計画に表現されていないのはなぜか。

答弁1(1) 経営計画の施策等の体系に変化がない場合でも、内容について見直しを行っている。重要案件は、経営計画の次に、具体的な個別事業の中から主要な事業を実施計画として登録していく。

質問1(2) 審議会の意見・パブリックコメント等で指摘された成果指標についてどう対応されるのか。

答弁1(2) 単位施策を代表するものになっていないものもあるので、今後、審議会でのご意見等をもとに、見直しも検討していきたい。

質問2 地産地消推進のため、目標達成にむけたスケジュールと、減少傾向にある生産量を増やしていくための具体的な対策について、また、すでに高知県などで実施されているレンタルビニールハウスは新規就農する時の助けにもなるが事業支援を検討してはどうか。

答弁2 鈴鹿市地産地消推進協議会で検討中の推進計画は3月ごろに発表予定である。具体的な対策は、規模拡大に応じた作業機械の導入やシステム化を進められるように、JA鈴鹿や三重県等の関係機関と連携し対応する。レンタルハウスは、関係機関の意向を踏まえ、必要性や有効性を調査・研究していく。



政友会 大杉 吉包 議員

- 1 公共工事の発注について
- 2 人事評価制度について

質問1(1) 本市の発注形態の現状について。

答弁1(1) 入札及び契約過程に関する情報の可能な限りの公表、工事入札の一般競争入札の原則化、総合評価方式の試行を行っている。

質問1(2) 一般競争入札と総合評価制度について。

答弁1(2) 総合評価落札方式は平成19年度から土木工事の一部その後舗装工事にも拡大しているが建築工事には至っていない。

質問1(3) 一括発注と分離発注について。

答弁1(3) 一括発注の方が予算的優位性があるとし

ても地元企業発展の観点から分離発注を継続する。

質問1(4) 地域活性化のため地元企業活用型総合評価落札方式を採用しては。

答弁1(4) 市外ゼネコンへの発注をやむを得ない工事案件については検討すべき選択肢の一つとなる。

質問1(5) 平田野中学校移転改築工事について「地元企業活用型総合評価落札方式」を実施しては。

答弁1(5) 未だ予算案も編成途上にあり議会の承認もいただいていない段階にあり答弁は差し控えたい。

質問2 人事評価実施後の状況と今後の計画について。

答弁2 平成18年度後半から管理職を対象に試行し、組織の活性化につながっている。今後一般職の昇任、昇格や給与面への反映も必要と考えており、公正で客観的な信頼性の高い制度の構築が必要と考える。



日本共産党 石田 秀三 議員

- 1 福祉医療制度について
- 2 市で働く非正規職員について

質問1(1) 市は子ども医療費助成の対象年齢を、1月から入院に限り中学生まで、4月から通院について小学生まで引き上げるが、三重県も9月から引き上げる方針を出した。そこで市として県の制度に上乘せして、通院無料化を中学生まで引き上げをを求める。

答弁1(1) 当面、24年に拡大する医療費の推移を見ながら、中学生通院への拡大は今後の課題としたい。

質問1(2) 障害者医療費助成制度の中で、精神障害者は「1級のみ、通院のみ」とされていて、他の障害との差が大きい。改善を求める。

答弁1(2) 精神障害の助成条件について、県内市町で構成する制度改革検討会などで検討中である。

質問2(1) 鈴鹿市で働く非正規職員は、いまや3人に1人である。臨時職員の時給750円は県下最低ランクで、ハローワーク水準以上へ引き上げるべきである。

答弁2(1) 業務内容を十分に勘案し、必要と思われる職種については、引き続き改善を図りたい。

質問2(2) 嘱託職員は公民館主事、保育士、司書をはじめ、正規と同等の仕事なのに、賃金は正規初任給のレベル、何年働いても昇給もない。賃金の底上げや経験加算を行なうことを求める。

答弁2(2) 正規職員との格差是正のため、必要と思われる職種につきましては、その職責に見合った報酬額の改定に努めたい。



日本共産党 森川 ヤスエ 議員

- 1 不登学児童・生徒の実態と対応は

質問1 不登校児童・生徒の中には家庭の事情で学校へ行く環境にない子どもたちもいるが、保護者の養育力の弱さから学ぶ機会を失ったまま成長した場合、将来社会へ巣立ったときに自分で自分の人生を切り開いて進む力がつかない。養育力の弱さは見守りだけで鍛えられないので、長期化しているのが現実である。子どもの人生を第一に考え、短期間の改善を求める。そのために何が必要か、どの時点でどこが責任を持って対応をするのかを尋ねる。

答弁1 保健福祉部と教育委員会がそれぞれ把握し

ている状況を緊密に連携を取り合って、家庭の状況に応じた対応をしている。保護者の養育能力の問題で、なかなか学校へ登校することができない子どもへの支援は、毎朝迎えに行くなど日常的に家庭訪問したり、地域の方の力をお借りして、登校を促したりしている。子どもが登校できた場合には、休んでいた期間の学習補充、食事や衣服の世話を含め、生活全般に関わる支援等も行っている。1つ1つの事案に対して、現状を十分に把握した上で、周りの大人の都合ではなく、子ども本人にとって最も善いことは何であるかをしっかりと見極めながら方策を講じることが重要であると考えている。問題の解決にあたっては、「子どもにとっての最善の利益」を考慮し、子どもの成長や保護者の子育ての支援に取り組む。



無所属 板倉 操 議員

- 1 男女共同参画推進の行政について
 - (1) ジェフリーすずかは役割を果たしてきたのか
 - (2) 男女共同参画の推進は総合行政だが体制は十分か

質問1(1) ジェフリーすずかには「男女共同参画社会」を実現するための活動拠点として重要な5つの役割がある。これが実施計画にそって、計画的に十分やられているとは思えない。また開館当初からジェフリーの活動を支えてきた登録団体、活動団体が現在離れつつある。原因をつかみ、再び協働の道を探る必要があると思うがどうか。

答弁1(1) 男女共同参画は重要課題であり、総合行

政であることは強く認識しているが、意識の普及度も低く積極的に取り組む必要がある。ジェフリーは活動の拠点として来年10周年を迎える。最近男女共同参画を推進する団体以外の利用が、8割に上っている。様々な取り組みはしてきたが、十分とは言えない面もあった。今後も登録団体、活動団体と協働し活動拠点としての役割を果たしていきたい。

質問1(2) 総合行政であると言うが、実際にはそうっていない。各課の推進委員を中心に実施計画にそって進める必要がある。日常的な進捗のチェックは男女共同参画課ではなく、生活安全部が高所から見ることがあると思うがどうか。

答弁1(2) 推進員の活用は重要と考えている。計画の改訂を来年に控えているので各方面から再考したい。

市民クラブ 太田 龍三 議員



- 1 生活保護業務の取り組みについて
- 2 鈴鹿環状線(磯山BP)の進捗について

質問1 過去の通院移送費不適正支給事案の反省も踏まえ、現在の業務の実施体制はどうなっているか。また、現在の業務の課題はどのようなものがあり、その課題に対しどのように取り組んでいるか。

答弁1 現在の人員はケースワーカー13名、兼務の査察指導員1名、専任の査察指導員2名の体制である。過去の通院移送費問題の反省を踏まえ、法令遵守の相互確認の徹底、ケースワーカーだけでなく福祉事務所としての判断となるよう事務処理手続きの徹底、重要案件は必ずケース会議を開催している。現在の課題

としては、自立支援の援助と不正受給の増加が挙げられ、自立支援の援助については、研修会を実施してケースワーカーの資質向上を図ったり、ハローワークとの連携に取り組んでいる。不正受給の増加対策については訪問調査や課税調査、預金調査等を行っており、悪質な場合は告訴もする。

質問2 鈴鹿環状線磯山バイパスの取り組み状況はどうなっているのか。

答弁2 県に確認したところ1工区については概ね3年後の供用開始を予定しているとの回答であった。2工区については23年度において測量及び道路計画などに着手するとの回答であった。市としては今後も早期供用と着工を目指し努力していきたい。

市民クラブ 大西 克美 議員



- 1 白子駅前広場整備事業について
- 2 危険道路の歩道整備について

質問1 白子駅前広場整備事業の進捗状況と今後の予定、周辺地域の商業活性化策はどうなっているか。

答弁1 進捗状況については昨年度から工事を進めており本年度末には進捗率66%を想定している。概ね当初事業計画どおりの進み具合である。今後はシェルター南側部分の建築工事と、舗装等の工事を行い年度当初に南側拡張部分の暫定供用を開始したい。来年度以降は北側部分の道路構造物の整備とシェルター北側部分の建築と西側街路の一部拡幅整備を予定している。周辺地域の商業活性化については駅前広場の

完成による周辺環境の変化を契機として、関係機関と連携して取り組んでいきたい。

質問2 市内危険道路(市道・県道)の認識箇所数は。歩道整備が進まないのはなぜか。県道稲生山線の歩道整備はどうなっているのか。

答弁2 市内27箇所を人身事故多発地点として把握している。通常の歩道整備には多額の費用と長い時間を要するため、歩行者空間(グリーン帯)事業に取り組んでいる。県道稲生山線の歩道整備については、三重県に対して再三歩道整備の要望をしており、今後も引き続き強く要望していきたい。



無所属 中村 浩 議員



- 1 避難所についてのパート3
- 2 消防長について

質問1 第5次鈴鹿市総合計画の第3期行財政経営計画の想定について。避難所等の目標の設定について、ひとの命をそんな安易な事で考えて良いのか。避難所の整備について、どの様なことを示しているのか。指定の見直しについてはどうか。コミュニティセンターは建設しないのか。

答弁1 第1期行財政経営計画では成果指標を地震による死者想定数としていたが、想定死者数を成果指標とすることは適切でないため第2期行財政経営計画

では避難所の耐震化やマンホールトイレの整備率を成果指標にしている。第3期行財政経営計画でも第2期と同様の目標を設定する予定である。避難所の指定については、三重県が10月に発表した津波浸水予測図速報版に基づき見直しを行っていく。コミュニティセンターを新たに建設する予定はない。

質問2 消防長を消防署長等や市町村の部課長から人選してはどうか。

答弁2 第2代消防長から現在の第14代消防長まで警察本部出身者が消防長に就任している。消防長は消防行政を遂行するうえで大変重要な地位であり、任命資格についても政令で定められているため、警察本部出身者に限らず消防署長等や市の部課長等も視野に入れて、職責を全うできるような適任者を考えていきたい。



すずか倶楽部 後藤 光雄 議員

- 1 平田野中学校移転改築工事について
 - (1) 基本計画について
 - (2) 入札方法について

質問1 ひと夏に23日、生徒一人が8回程の水泳授業を受け、その維持経費に127万円かかっている平田野中学校のプールが1億数千円分の建設費で計画されているが、鈴鹿スポーツガーデンの利用等で空く約80坪の土地の活用を考える気はないか。又、昨年竣工した神戸中学校の普通教室廊下側出入口間が壁で中が見えない造りだが、平田野中学校は廊下から教室内が見える造りになるのか。鉄筋造りの計画から自由度の高い鉄骨造りへの変更は可能か。

答弁1 水泳の授業は、学校外のプールを活用するよ

り自校で行う方が適切であると考え、プールは造る。出入口間の壁は、機能面と教育的効果から現場の意見も参考に決定していく。構造については、耐用年数を考えているので変更しない。

質問2 市庁舎建設以来、旭が丘小学校、神戸中学校、給食センター、消防庁舎建設と、200億円以上の建設費の多くが市外業者に支払われている状況から、平田野中学校移転改築工事は地元業者が入札し、発注されるように、校舎を分割して発注する様な工夫は考えられないか。

答弁2 現在実施設計を進めているところなので、今後、建物の規模、構造や配置等を考慮し、その中で市内業者に発注できるような方法を併せて検討していく。



政友会 今井 俊郎 議員

- 1 成人式のあり方について
- 2 市制70周年事業について

質問1(1) 現在の方法では新成人との一体感がないように思うがどう感じるか。

答弁1(1) 新成人で構成する実行委員会が企画運営を行っているが、会場の都合上、一体感に欠けたり、式典中のマナーの悪さなども見受けられる。今一度会場や運営方法も含め成人式のあり方を検討したい。

質問1(2) 地域とのつながりを考えて中学校区での成人式の開催はどうか。

答弁1(2) 全国の自治体の中には、すでに実施している事例もあるため、調査検討を重ねていきたい。

質問2(1) 来年に控える市制70周年の盛り上がりには欠けるようだが進捗状況は。

答弁2(1) まずは行政が主体となり記念事業の機運を盛り上げ事業を実施していく。今後実施する事業は広報やホームページ等で情報発信する。平成24年4月以降には、市民提案による記念事業の募集も計画しており、市民による選定委員会を予定している。

質問2(2) 市制70周年事業に対して市長の思いが見えてこないが市長はどのような思いか。

答弁2(2) 記念事業を、一過性のイベントとして終わらせるのではなく「将来のまちづくりにつなげていくという視点」は記念事業を通して新たなものを生み出す、あるいは既成のものにさらに磨きをかけ市政の発展につなげたいという市長の思いから設けたものである。

防災安全に関する議会からの提言

平成24年1月10日に全議員の総意により防災安全に関する提言書を市長に手渡しました。

現状から本市の課題と他市の取組を視察して調査・研究した結果、今後の減災についての社会的意義・需要に対応するよう速やかに検討し、計画的な施策の推進に努められるよう次のとおり提言します。

- ①市は地震による津波・液状化・火災・倒壊などの被害のシミュレーションを行い、事前に災害復興計画を策定すること。また、地区別防災計画づくりに取組むこと。
- ②市は市民の命と安全を守るために、安心かつ災害弱者に一層配慮した避難施設及び避難路を確保するよう努めること。
また、市民にわかりやすい避難誘導表示や海拔表示の設置を早急に行うこと。
- ③市は市民だれもが、いつ・どこで・何をしても災害情報を得られる体制の整備に取組むこと。
また、双方向の通信体制の整備や、バックアップの充実に努めること。



平成23年度 市議会各常任委員会からの提言

※掲載できなかった項目については市議会ホームページで公開しています。

総務・文教福祉・生活産業・建設水道の4つの常任委員会では閉会中の継続調査を実施し、平成24年1月13日に正副議長及び各委員長が提言書を市長に手渡した。(表紙写真)

■総務委員会「選挙制度改革について」

・現実に即した公費負担のあり方と期日前投票所を含めた投票所の増設について検討すること。その他に「監査体制の強化について」と「職員の意識改革について」を含めて計5項目を提言した。

■文教福祉委員会「地域医療について」

・三重大学、三重県立看護大学、医師会、歯科医師会及び鈴鹿市の1次・2次救急医療機関とのさらなる関係強化に努めること。また、近隣市町との協力体制をさらに強化するよう努めること。その他に「コミュニティ・スクールについて」を含めて計8項目を提言した。

■生活産業委員会「再生可能エネルギーについて」

・地球温暖化防止のため、再生可能エネルギーの活用がさらに積極的に推進されるよう施策を講じること。その他に「農林水産業の6次産業化について」と「地域公共交通について」を含めて計5項目を提言した。

■建設水道委員会「新名神のスマートインターについて」

・本市にとっての位置づけ、渋滞対応か災害対応かバイパスの対応か、また、周辺地域の将来的な発展・活性化を含んだ、利便性・産業政策との結びつきについての見解を明確にすることを望む。その他に「下水道事業について」を含めて計9項目を提言した。

2・3月会議日程

※日程は変更される場合があります。

2月	22日	(水)	10:00	本会議(開会)
	23日	(木)	13:30	議会運営委員会
3月	2日	(金)	10:00	本会議(質疑)
	5日	(月)	10:00	本会議(代表質問)
	6~9日	(火~金)	10:00	本会議(一般質問)
	8日	(木)	10:00	議会運営委員会(本会議終了後)
	9日	(金)	10:00	予算決算委員会(本会議終了後)
	12・14日	(月・水)	13:00	常任委員会〔文教福祉・建設水道・分科会〕
	13・15日	(火・木)	10:00	常任委員会〔総務・生活産業・分科会〕
	19日	(月)	10:00	予算決算委員会
	22日	(木)		議会運営委員会
	23日	(金)		本会議(閉会)(本会議終了後 全員協議会)

議会史を販売しています。

平成16年までの鈴鹿市議会のあゆみがわかる書籍です。資料編・記述編を販売しております。ご購入の方は議会事務局までご連絡ください。

テレビ中継のお知らせ

本会議の一般質問を、CNSテレビ(デジタル122ch)で生放送します。放送時間は、午前10時(開会時間)から会議の終了までです。ぜひご覧ください。

鈴鹿市議会のホームページをご覧ください。

鈴鹿市議会のホームページでは、議会についての紹介、各議員の名簿、会議日程のご案内、請願と陳情の提出方法、会議録の検索システム、一般質問等の議会テレビ中継の録画配信、各会派の政務調査費の決算状況等をお知らせしています。また、最新情報については、随時トピックスでお知らせしています。ぜひご覧ください。なお、テレビ中継の録画映像配信については、おおむね中継日の翌月10日過ぎとなりますのでご了承ください。

市議会ホームページアドレス <http://www.city.suzuka.lg.jp/gikai/>

市民のみなさんのご意見をお寄せください!

市議会だよりに対するあなたのご意見・ご提案・ご要望をお聞かせください。お寄せいただいたご意見は、今後の市議会だよりの発行の参考にさせていただきます。

〒513-8701

鈴鹿市神戸一丁目18番18号鈴鹿市議会事務局

TEL 059-382-7600 FAX 059-382-4876

Eメール giji@city.suzuka.lg.jp

会議録のお知らせ

一般質問や議案質疑など本会議の詳しい内容については、会議録が閲覧できますのでご覧ください。12月定例会の会議録は、2月下旬に市立図書館及び各地区市民センターなどに配布予定です。また、鈴鹿市議会ホームページに、会議録検索システムを掲載しています。平成9年度以降の本会議と平成22年度以降の各常任委員会等の会議録が検索できますのでご覧ください。

傍聴のご案内

本会議や常任委員会、特別委員会、議会運営委員会及び全員協議会は傍聴できます。日程は市役所の掲示板と市議会のホームページに掲載します。ただし、日時が変更になる場合がありますので、傍聴する場合は、事前に議会事務局へご確認ください。電話 382-7600